

市議会与党議員による一般質問封じる暴挙に抗議の声明

2018年9月6日

日本共産党 取手市議会議員団

9月4日、開会中の取手市議会で、与党議員の動議によって急ぎよ議会運営委員会が開かれました。日本共産党の遠山・小池市議及びとりで生活者ネットワークの池田めぐみ市議が、4・5・6日に予定し通告している「ポートピア設置問題についての一般質問は認めない」と、与党議会運営委員の賛成でこれを強行しました。その理由は、ポートピア設置業者が、日本モーターボート振興会より「共産党の方が、取手にギャンブル場はいらないとの抗議があったので、取手市は不適」との連絡を受け、設立計画を断念することについて、9月1日付文書を地元各区長に配布しました。よって「ポートピアは中止になったので、一般質問は、市政の問題を質問する為のものだから必要なし」というのが与党議会運営委員等の言い分です。

そもそも一般質問は、市民の声を市に届け、その実現に力を尽くすのが議員としての責務です。ましてやポートピア設置は、市民のくらし・教育・文化・環境などにかかわる大問題であり、市長の同意・不同意によって決まるものです。このことに一貫して、市長は無責任な態度をとり続け、地元住民と市民に不安を与えました。その問題で、取手市の対応を質す議員の質問権を奪う暴挙は、議会の自殺行為と言わなければなりません。日本共産党は、議会運営委員会後再開された本会議で、これらの事柄に対し厳しく抗議。その直後一般質問に立った小池えつ子市議も、「こうした形で、ポートピア問題を取り上げることを封殺したことは許しがたい」と再抗議しました。今回、業者が「ポートピア取手」を断念せざるを得なかったのは、多くの皆さんが新たな「ギャンブル場はいらない、文化・くらしを守る街を」と声を上げたことによるものです。

日本共産党は、市議会が主権者市民の付託に応えうる民主的議会運営を回復するために全力を尽くすとともに、暮らし文化を守る取手とするために市民のみなさんと力を合わせます。

以上、市議会議員の一般質問権を封じる暴挙を行った与党議員に対し厳しく抗議するものである。

日本共産党議員団は入江洋一市議会議員と斎藤久代
議会運営委員長に対し標記の抗議文を提出しました。

お詫び

この度は、仮称『ポートピア取手』の設立に大変お骨折りをいただき誠に有り難うございます。

申し訳ありません、皆様方のご協力お骨折りにお答えする事が出来なくなりました。

共産党の方が「日本モーターボート振興会」に対し、取手に二つのギャンブル場はいらない、もし申請があっても許可をしないでくださいと抗議されたとのことです。

振興会としては、地元から「是非、うちの町や市に設立して欲しい」と言う町や市に設置をし、協力したいとの意向であり、取手市は不適だとの連絡を受けました。

突然の事で、誠に申し訳ありませんが、振興会の意向によりこの設立計画を断念せざるを得なくなりました。

これまでのご協力やお骨折り、又ご心配に感謝を申し上げお詫びの手紙とさせていただきます。

取り急ぎ用件のみにて失礼させていただきます。

平成30年9月1日

9月1日、地元区長あてに出された事業者からのポートピア設置計画断念を表明した「お詫び」の文書

